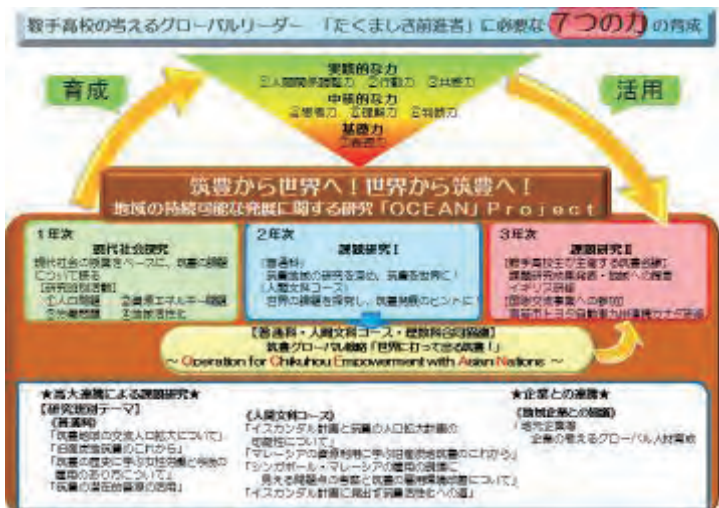


# 福岡県立鞍手高等学校

## 筑豊から世界へ！グローバルシティズンシップを持った「たくましき前進者」の育成

### 【構想の概要】

- ①「内向き志向」や自国家・自民族中心の思考を脱し、地球的な視野から地域の持続可能な発展に対して自覚と責任を持って行動するグローバルシティズンシップを持った「たくましき前進者」の育成を目指し、グローバル社会を生きるうえで必要な7つの力（人間関係調整力・行動力・共感力・思考力・理解力・判断力・表現力）を身につけるためのプログラム開発
- ②生徒の学習プロセスを見据えながら、課題研究を効果的・効率的に進め、生徒の能力の伸長を促す手法の開発
- ③生徒の能力の伸長を測る能力評価指標の作成に関する研究



### 【課題研究に関する連携大学】

- ・北九州市立大学
- ・京都大学東南アジア地域研究研究所
- ・九州大学
- ・東北大学金属材料研究所
- ・福岡女子大学
- ・福岡県立大学
- ・福岡工業大学
- ・九州産業大学語学教育研究センター

人間文化コース教育課程表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
1年次	国語総合		現代社会探究		数学Ⅰ・A		体育	保健	芸術	コミュニケーション英語Ⅰ	英語表現Ⅰ	家庭基礎	社会と情報	SS科学探究基礎	HR																		
2年次	現代文B	古典B	世界史B	日本史B	数学Ⅱ・B	化学基礎	生物基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	異文化理解	人文科学	課題Ⅰ	HR																			
3年次Ⅰ型	原書講読	近現代文研究	日本史探究	世界史探究	政治経済	数学総合演習	化学探究	生物探究	体育	コミュニケーション英語Ⅲ	英語表現Ⅱ	課題Ⅱ	HR																				
3年次Ⅱ型	原書講読	近現代文研究	日本史探究	世界史探究	政治経済	体育	芸術 フードデザイン	コミュニケーション英語Ⅲ	英語表現Ⅲ	英語理解	実用書	課題Ⅲ	HR																				

## 課題研究の取組

### ◆人間文科コース課題研究

人間文科コースについては、シンガポールの研究班とマレーシアの研究班を設定し、それぞれのグループに担当教員を1名つけて、少人数ゼミ形式で研究を進めている。大学との連携については、北九州市立大学の協力のもと、専門的なアドバイスを受けるようにしている。また、夏に京都研修を実施し、京都大学東南アジア地域研究研究所を訪問し、専門の教授の講義も受講している。

12月にはシンガポール・マレーシアに実際に行き、現地で研修を行う。現地の学生とともにアンケート調査や協議をしたり、課題研究の中間発表をしたりして、現地でしか得られない情報を収集し、研究内容を深めている。



【海外研修での協議の様子】

海外研修終了後に、研究論文を仕上げ、人間文科コース課題研究発表会を2月末に実施。この発表会には、大学教授等を招聘し、外部による評価を受けている。人間文科コースの研究発表はすべて英語による発表を行っている。

### ◆普通科課題研究

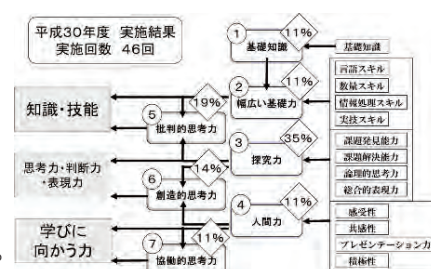
普通科の課題研究は「ドリームプラン班」「フットパス班」という2つの研究班に分けて研究活動を行なっている。ドリームプラン班では、筑豊地域の活性化につながるビジネスアイデアの創出、フットパス班については地域へのフットパスコースの提案から提案後の地域への浸透等について調査している。ドリームプラン班については、九州大学および学生ティーチングアシスタントの協力により、様々な観点から指摘を受けながら研究内容を深めるようにしている。

フットパス班については、実際に直方市の地域にフットパスコースを提案し、地域への影響を研究している。直方市役所、地域自治会、さらに北九州市立大学および学生ティーチングアシスタントと連携して、生徒が地域でフィールドワークを行ったり、地域の人を巻き込んだフットパス体験ツアーを実施

したりしている。

## 各教科の授業改善および教科間の連携

SSHと連携して各教科において、能力の育成に関する授業改善を行っている。教科指導にお



いて、どのような能力の育成するのかについて、手法は適切かどうかについて明らかにするための授業改善アンケートを平成29年度から実施しているが、初年度の実施結果を見ると、やや基礎力を重視した授業が多く見られた。30年度においては応用的・実践的な力（批判的思考力・創造的思考力・協働的思考力）にも重点をおいた改善がなされているとの結果が出ている。また教科間の連携については、各教科で英語イマージョン授業を実施している。

## 成果の普及

成果普及については、文化祭の中に課題研究発表会を位置付けることによって、校内での共有や地域への普及を図っている。また、平成29年度には「筑豊会議」と称して、地域の方を巻き込んで研究発表やパネルディスカッションを実施した。また、教育関係者向けに事業説明等も実施している。平成30年度には韓国の高校の教員の訪問も受けた。人間文科コースにおいては、京都で行われた東南アジアの研究者の集まる国際シンポジウムで英語発表をしたり、普通科においては、熊本で行われたフットパスに関する国際シンポジウムや、市の産業振興に関する地域イベントにおいて発表したりするなど、校外での発表の機会を設け、広く研究成果を発信している。



【H29・筑豊会議の様子】